

飯山高等学校 学校評価表

学校教育目標	中・長期的目標	総合評価
① 高い知性と豊かな心、健やかな体を育み、自ら考え探究する力を養う。	(1) 生命・人権尊重の精神と敬愛・協同の精神を養い、安心・安全な学校づくりを行う。 (2) 生徒の主体性を育み、個性の伸長と智・徳・体の育成を図り、探究的な学びを通して学力の向上を図る。 (3) 開かれた学校づくりと地域や外部機関との連携を推進し、生徒の社会参画の力と未来を創造する力を育てる。	
② 個性や能力を伸ばし、自主・自立の精神と敬愛・協同の精神を培う。	今年度の重点目標（評価項目）	成果と課題
③ 社会の一員としての自覚を高め、進んで社会に貢献する人物を育てる。	① 生徒一人ひとりに居場所があり、互いの存在を認め合う人間関係と期待感のある学校を創る。 ② 学科の特色を生かした学習活動を充実させ、生徒の個性や能力を充分に伸ばすとともに、将来展望をふまえ学科や教育課程のあり方を検討する。 ③ 授業改善に取り組み、高い志と自ら課題を発見し解決に挑む力を育て、進路実現につなげる。 ④ 生徒と社会をつなげる教育活動を積極的に展開するとともに効果的な情報発信を行う。	
④ 國際社会を深く理解し、平和を希求する人物を育てる。	A(よくできた) B(だいたいできた) C(やや不十分) D(不十分)	

③	授業改善に取り組み、高い志と自ら課題を発見し解決に挑む力を育て、進路実現につなげる。	各教科	・アクティブラーニングやICTの利用など、授業内容や方法について各教科で研究し、生徒が課題を発見して解決するまでの力を育成できたか。 ・授業公開を積極的に行なったか。				
		学習指導委員会	・シラバスの提示、授業アンケート、各テストの資料分析等をもとにした授業改善を行うことができたか。 ・家庭学習の習慣が促進されるような取り組みができたか。				
		進路指導係	・21世紀型を含めた学力の向上を目指す取り組みをする中で、進路意識の向上と進路実現を図ることができたか。 ・多様な生徒の進路希望に対応する、きめ細かな指導ができたか。 ・高大接続等、新テストに対する研究をすすめることができたか。				
④	生徒と社会をつなげる教育活動を積極的に展開するとともに、効果的な情報発信を行なう。	飯山カリキュラム委員会	地元小・中学校と連携を取り、数学・英語・理科を中心に学力向上のための取り組みができたか。				
		SSH・探究科運営委員会	・各教科の主体的・探究的・協働的な学習活動を通じ、授業における疑問から「課題研究」のテーマ設定をする生徒が増加しているか。 ・「課題研究」を中心とした教育プログラムにより課題発見・解決力を育成できたか。 ・科学系コンテストに出場する生徒が増加したか。				
		教務係	・学校HPや飯高ジャーナル等を通して、情報を速やかに発信できたか。 ・公開授業や体験授業を通して、学校と地域の活性化を図れたか。				
		PTA厚生係	・PTA総会、支部PTA総会への参加率向上が図れたか。 ・PTA行事の企画運営を保護者とともに行なっていたか。 ・PTA会報の発行等を通じて情報発信が図られたか。				
④	生徒会係	生徒会係	・生徒が自主的に地域の行事へ参加し地域の方と協力できるよう生徒会活動・クラブ活動等を支援することができたか。				
		同窓会係	・同窓会の組織づくり(名簿の作成など)を確立することができたか。				

各教科による詳細な観点

重点目標	評価項目	主となる分掌	評価の観点	評価%		成果と課題	改善策
				A	B	C	D
① 生徒一人ひとりに居場所があり、互いの存在を認め合う人間関係と期待感のある学校を創る。	1学年		・望ましい生活習慣(挨拶・清掃・時間厳守)と学習環境づくりができたか。 ・学科を超えた交流の場面を増やし、学年の一体感を醸成することができたか。 ・生徒同士、学校生活の課題を話し合い、主体的な取組を推進できたか。				
			・様々な機会に意見表明の場を設定し、主体的な行動を促すことができたか。 ・自らの不備を自覚し、改善努力するお互いを尊重する集団を育成できたか。 ・研修旅行や各種行事を通じ、互いの意見の差異を埋めながら、組織（クラス・学年・部活・生徒会）に関与しようとする姿勢が身につくよう支援できたか。				
	2学年		・生徒一人ひとりの進路目標の設定とその実現に向けて、指導や環境づくりができたか。 ・主体的に学校生活に取り組む姿勢や、お互いの考え方の違いを認める態度を育て、学力や人間力の向上を図ることができたか。				
			・主権者意識と地域課題への意識を高め、将来の地域を担うリーダーを育成できたか。				
	3学年		・生徒会活動・クラブ活動等の自主活動を充実させることができたか。 ・生徒一人ひとりが活躍できるよう支援し、生徒の学校生活の充実を図れたか。				
			・生徒会活動・クラブ活動等の自主活動を充実させることができたか。 ・多様な生徒たちに對し生徒相談の体制と充実させることによって、生徒個々の理解と支援を行なうことができたか。				
	生徒会係		・生徒の心の健康を支援する活動や全体での取組ができたか。				
② 学科の特色を生かした学習活動を充実させ、生徒の個性や能力を充分に伸ばすとともに、将来展望をふまえ学科や教育課程のあり方を検討する。	生活指導係		・人権尊重はじめ暴力のない安心安全な学校づくりができたか。 ・多様な生徒たちに對し生徒相談の体制と充実させることによって、生徒個々の理解と支援を行なうことができたか。				
			・新校舎を大切に長く気持ち良く使えるように美化に努めたか。				
	保健環境係		・新校舎を大切に長く気持ち良く使えるように美化に努めたか。				
			・望ましい教育環境の整備ができたか。				
	各教科		・各学科や各教科の特徴をふまえ、生徒の能力・個性に応じた指導で学力を伸ばすことができたか。 ・カリキュラムマネジメントをふまえ、教育課程の改善を検討できたか。				
			・多様な生徒の学力に応じた、学習環境・進路指導が示せたか。				
	探究科		・探究活動を通して、知識と興味を補完しながら学習の深化・高度化を図れたか。 ・国際的な視野を持ち、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を養成できたか。 ・高い目的意識と進路実現に向かう姿勢をつくることができたか。				
			・学科の特徴をふまえ、生徒の能力・個性に応じた指導で学力を伸ばすことができたか。 ・攻撃種目の指導を通して、競技力の向上を図ることができたか。 ・課題研究に積極的に取り組むことで、課題解決力やプレゼン能力を伸ばすことができたか。				
	スポーツ科学科		・学びの改革を踏まえ将来を見据えた学科のあり方や教育課程の研究を進められたか。 ・信州学の編成を進めることができたか。				
			・高大接続や基礎学力テストをふまえ、各教科の指導方法や教育課程の研究が進んだか。				
	学校運営会議カリキュラムマネジメント委員会		・学びの改革を踏まえ将来を見据えた学科のあり方や教育課程の研究を進められたか。 ・信州学の編成を進めることができたか。				

重点目標	評価項目	主となる分掌	評価の観点	評価%		成果と課題	改善策
				A	B	C	D
② 学科の特色を生かした学習活動を充実させ、生徒の個性や能力を充分に伸ばすとともに、将来展望をふまえ学科や教育課程のあり方を検討する。	国語科		様々な言語活動(話す・聞く・読む・書く)を通じて、論理的に考える力を身につけ、伝え合う力を高めることができたか。				
			授業方法を工夫し、生徒の興味・関心を高め、自ら学ぼうとする姿勢を培うことができたか。				
	地歴公民科		各科・生徒の能力を適切に把握し、その方に応じた授業を展開したか				
			授業・実験の工夫を続けることで、自然科学に対する興味・関心を高めることができたか。				
	理科		自己を知り、自分を大切に思い、自分を表現できるような授業にすることはできたか。				
			保健体育科	種目・内容を精選し、体力や技能の向上を図ることができたか。			
	芸術科		コミュニケーションの道具としての英語を運用する力を伸ばし、世界中の人々と積極的に関わっていく姿勢や自分の考えを発信しようとする力を向上させることができたか。				
			英語科	お互いの個性を尊重し、グループ内で協力して実習を行なうことができたか。			
③ 授業改善に取り組み、高い志と自ら課題を発見し解決に挑む力を育て、進路実現につなげる。	家庭科		コミュニケーションの道具としての英語を運用する力を伸ばし、世界中の人々と積極的に関わっていく姿勢や自分の考えを発信しようとする力を向上させることができたか。				
			商業科	簿記会計、情報処理の教科学習を通して、会計言語、情報処理言語の標準的言語能力の習得と商業的のもの見方・整理・発想の向上ができたか。			
	国語科		生徒参加型授業やICTを利用した授業実践について、積極的に授業を公開し教科内で講習会や研修会を実施するなど、授業改善に向けて意識を高めることができたか。				
			授業方法の工夫や、ICTの活用などを通じ、生徒が興味・関心を持つことができる授業実践ができるか。				
	地歴公民科		広く授業を公開し、互いに授業を見学し、授業改善に取り組めたか				
			理科	授業改善を通して自ら自然現象を探る姿勢が育てられたか。また、そのことで生徒に将来展望を抱かせる結果が得られたか。			
	数学科		授業内容と方法を工夫し、生徒が自ら考え、自ら表現できる力をつけることができたか。				
			芸術科	授業内容と方法を工夫し、生徒が運動の楽しさを自ら追究することができたか。			
	保健体育科		英語を通して世界に触れ、国内外の諸問題・情勢について興味関心を持ち、将来自らが積極的に発信していく姿勢を身につけさせることができたか。				
			家庭科	課題を見つけ、解決のために努力し、自分の考えをまとめて発表することができたか。			
	英語科		生徒の進路実現に向けて商業科目を通して、社会認識、自己理解、職業理解を理想の展開として、講義1・演習1(2-2)の割合で授業が進められたか。				
			商業科	生徒の進路実現に向けて商業科目を通して、社会認識、自己理解、職業理解を理想の展開として、講義1・演習1(2-2)の割合で授業が進められたか。			